



戸塚区民文化センター さくらプラザ

アートマネジメント講座IX

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

シンポジウム

『誰も取り残さない』社会を達成する

# 劇場経営

SDGs × 劇場

2020  
1/23 (木)  
14:00 ~ 17:00

参加無料

※13:30 開場・受付開始。  
終了時間は多少前後する場合がございます。

会場

戸塚区民文化センター  
さくらプラザ・ホール

〒244-0003

神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 16 番地 17  
戸塚区総合庁舎 4 階

TEL:045-866-2501

FAX:045-866-2502



→ 参加方法は裏面をご覧ください



主催：戸塚区民文化センター さくらプラザ（指定管理者 アートプレックス戸塚株式会社／運営 株式会社共立）

●第Ⅰ部 (14:00 ~ 15:20)

基調講演 I

『地域発の SDGs の取組みと経営への活用について』

講師

山口健太郎 (神奈川県理事 (いのち・SDGs担当))

基調講演 II

『準公共財としての劇場音楽堂の運営について』

講師

高萩宏 (東京芸術劇場副館長)

●第Ⅱ部 (15:30 ~ 17:00)

パネルディスカッション

『包摵社会を達成する劇場経営の在り方とその未来』

モデレーター

若林朋子 (立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 特任准教授)

パネリスト

山口健太郎 (神奈川県理事 (いのち・SDGs担当))

高萩宏 (東京芸術劇場副館長)

植松侑子 (合同会社 syuz'gen 代表社員、特定非営利活動法人 Explat 理事長)

※内容、出演者は予告なく変更になる場合がございます。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けた  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

2015年、世界193か国で構成される国際連合にて、2030年までに達成すべき社会課題解決の目標として「持続可能な開発目標 (SDGs…Sustainable Development Goals)」が策定された。それと並行して、国内の文化芸術の世界では、2011年の「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第三次基本計画）」に文化芸術のもつ「社会包摶機能」が明記されて以降、続く2018年の「文化芸術基本計画」にも重要な要素として位置づけられている。このどちらも「誰も取り残さない」「社会的排除を取り除く」という視点で共有できるビジョンがあるのでないだろうか。劇場・音楽堂が社会の一組織として「誰も取り残さない社会」の達成に貢献するためにいかなる「経営」が必要か、SDGs・文化芸術の先進都市であるここ神奈川県横浜市で考えたい。

## 出演

**山口健太郎** (神奈川県理事 (いのち・SDGs担当))



1983年 神奈川県庁入庁  
米国ロサンゼルス駐在員、新産業振興課課長代理等を経て、  
2009年 環境農政部電気自動車担当課長  
2010年 環境農政局環境部交通環境課長  
2011年 環境農政局新エネルギー・  
温暖対策部太陽光発電推進課長  
2013年 政策局政策部国際戦略総合特区推進課長  
2014年 ヘルスケア・ニューフロンティア推進局事業統括部長  
2015年 ヘルスケア・ニューフロンティア推進局副局長  
2016年 ヘルスケア・ニューフロンティア推進統括官  
2018年 4月より現職

**高萩宏** (東京藝術劇場副館長)



1953年、東京都生まれ。東京大学文学部卒業。コロンビア大学大学院アーツ・アドミニストレーション学科中退。劇団夢の遊眠社創立メンバー。1989年に退団後は、英国でのジャパン・フェスティバル1991をはじめ、東京演劇フェア、東京国際芸術祭などの運営に携わる。パナソニック・グローブ座支配人、世田谷バブリックシアター制作部長を経て、2008年4月より現職。2000年より2002年まで東京大学大学院文化資源学客員教授、2003年より多摩美術大学芸術学科任期制教授、2006年より客員教授。2007年より12年まで文化庁文化審議会文化政策部会委員。著書「僕と演劇と夢の遊眠社」(日本経済新聞出版社)。

**植松侑子** (合同会社 syuz'gen 代表社員、特定非営利活動法人 Explat理事長)



1981年愛媛県生まれ。お茶の水女子大学 文教育学部  
芸術・表現行動学科舞踊教育学コース卒業。在学中より複数のダンス公演に制作アシスタントとして参加。  
卒業後はダンスカンパニー制作、一般企業での勤務、  
2年間の海外放浪を経て、2008年～2011年フェスティバル / トーキョー制作。2012年からは1年間韓国・  
ソウルに留学。帰国後は主にフリーランスの制作として様々な劇場・組織・劇団と協働。神戸大学大学院  
国際協力研究科 博士後期課程（政治学）在籍中。芸  
術を社会と結ぶことを「政治学」の観点から考え中。  
モットーは、もう少し深く掘り下げよう&情報は惜し  
みなく共有しよう。

**若林朋子** (立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 特任准教授)



撮影:安田有里 ©Ko Na design

デザイン会社勤務を経て英国で文化政策を学ぶ。1999～2013年企業メセナ協議会勤務。プログラム・オフィサーとして企業が行う文化活動と芸術支援の環境整備等に従事（ネットTANの運営等）。13年よりフリー。  
事業コーディネート、執筆、編集、調査研究、評価、  
コンサル、自治体の文化政策やNPO運営支援等に取り組む。NPO法人理事（芸術家と子どもたち、JCDN、芸術公社）、監事（ON-PAM、アートプラットフォーム、音  
まち計画、アーツエンブレイン、TPAM）、アートによる  
復興支援 ARTS for HOPE運営委員。立教大学大学院 21  
世紀社会デザイン研究科教員。社会デザインの領域で  
文化、アートの可能性を探る。

※出演者・内容は予告なく変更になる場合がございます。

## 申込方法 2019年11月25日(月)14:00より受付開始

●当館窓口・電話・ホームページ内申込フォームのいずれかの方法にて、【所属】【参加者名】【電話番号】【参加人数】をお知らせください。

▶窓口：当館受付にて直接お申し付けください。（営業時間 9:00～21:00）

▶電話：045-866-2501 (9:00～21:00)

※休館日：12月10日(火)、12月29日(日)～1月3日(金)、1月14日(火)

17時閉館日：12月28日(土)、1月4日(土)

▶ホームページ内申込フォーム：<https://totsuka.hall-info.jp/event/symposium20200123.html>

**注意事項** ●事前申込優先 ●定員300名 ●定員に達し次第受付終了

お問合せ：戸塚区民文化センターさくらプラザ TEL:045-866-2501 (9:00～21:00)



ホームページ内  
申込フォームへ